

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
宗教	宗教	1	1	必	全コース
科目の目標	宗教という言葉聞いてどのような印象を持つでしょうか。現代社会では「気持ち悪い」など嫌悪観が選考しています。宗教は長い歴史を通じて、数々の優れた宗教文化を生み出し、宗教の教えは人類の思想を広く発展させてきました。宗教を身近にとらえ、宗教とは何か、宗教とは今日の社会でどういう働きをしているかをみんなで話し合い、一緒に考えてほしいと思います。				
教科書	見真		副教材等	聖典・聖歌	

1. 学習の到達目標

1学年の宗教では、「見真」の1節を通して「生きる」ことについて考えていきます。さらに、聖典・聖歌において浄土真宗のみ教えを、その言葉から私たちが生きる意味について考えていきます。身近な問題や社会的な問題にもふれながら、私たちの周りで宗教というものがどのような意味を持つのか、自分自身を振り返りながら私たちの生き方を学んでいきます。特進コースについては1年間で教科書全て学びます。語彙読解力検定へも取り組みます。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
評価方法・授業の進め方 建学の精神について説明	3	4	校訓、校歌、学校の歴史など 法輪、善財童子、念珠、法句経など	○	○	○
前期法句経 (1.自己～3.求道) 私とは 第2の誕生 かけがえのない“わたし”	5	5	宗教が身近なところにあることを気付かせる。	○	○	○
“わたし”の人生 生存と生活・個のあり方	4	6	自分がここに存在することへの感謝の気持ち 動物と人間の違いを通じて、人間の特徴を考え	○	○	○
連帯の実感	4	7	させる。	○	○	○
生きるということ	2	8	現在、自分自身が15年間生きてきたことの尊	○	○	○
後期法句経 (4.さとり～6.はげみ)	4	9	さとと、青年期に差し掛かり、心と体のアンバラ	○	○	○
宗教の起源について 世界の宗教とその分類	5	10	ランスは当然であることを実感させる。 宗教がどのように起こり、広まっていったのか、そ	○	○	○
原始宗教 民族宗教	4	11	の起源を知る。 原始宗教であるアニミズム・シャマニズム、民族宗	○	○	○
世界宗教	3	12	教であるゾロアスター教・ジャイナ教・ヒンズー教・	○	○	○
仏教	2	1	儒教について手学びます。 仏教・キリスト教・イスラム教の「世界宗教」につい	○	○	○
キリスト教 イスラム教	4	2	て学びます。いろいろな宗教を学ぶことによって、	○	○	○
仏教について考える	3	3	宗教が私たちの人生と、どのように深く関わってい	○	○	○
			るかを考えてみましょう。 建学の精神である仏教精神と浄土真宗について	○	○	○
			概略する。			